## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

56-110569

(43)Date of publication of application: 01.09.1981

(51)Int.CI.

F03B 9/00

(21)Application number: 55-014214

(71)Applicant:

ADACHI SADAYUKI

(22)Date of filing:

06.02.1980

(72)Inventor:

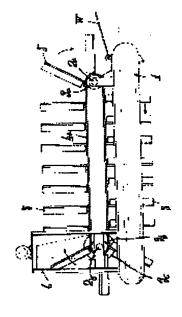
ADACHI SADAYUKI

## (54) POWER GENERATING DEVICE BY USING WATER FLOW

#### (57)Abstract:

PURPOSE: To obtain the average power whether or not a water level fluctuates by a method wherein a chain laterally laid with numerous vanes is stretched between sprocket wheels, and the sprocket wheels are supported by a floating body having desired duoyancy.

CONSTITUTION: The chain 4a is laid laterally with the numerous vanes 5 and stretched between the sprocket wheels 3a, 3b, which are supported by the cylindrical floating body 1 having the desired buoyancy. Whereby even in case where the water levels of rivers change, the floating body 1 is moved according to the change of the water level and the vanes 5 are always sunk under water by fixed areas, so that the average power can be obtained regardless of the change of the water level.



#### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C): 1998,2003 Japan Patent Office

## ① 日本国特許庁 (JP)

①特許出願公開

# ⑩公開特許公報(A)

昭56-110569

⑤Int. Cl.³
F 03 B 9/00

識別記号

庁内整理番号 7815—3H ❸公開 昭和56年(1981)9月1日

発明の数 1 審査請求 有

(全 4 頁)

図水流を利用した動力発生装置

②特

質 昭55-14214

後出

願 昭55(1980)2月6日

@発 明

安達貞之

八尾市南木の本3丁目19番地の

14

⑪出 願 人 安達貞之

八尾市南木の本3丁目19番地の

14

個代 理 人 弁理士 林清明

明 糾 4

1 免明の名所

水流を利用した動力発生装置

2 特許請求の範囲

3 発明の再組な説明

本始的は何川などの水流を利用して動力を 発生せしめるようになした緩慢に関するもので ある。 従来水流を利用した動力発生装置としては水力発動や水卓が提案されている。しかし水力用発電タービンや水車を回動せしめるには水流にある速度を受するため落登等を人工的につけ水流速を増すようにしている。

使って水力発電所では貯水池より一定の格差を 有するよう導入管を介して他の下方位置に発電 タービンを設置したり水車までの導水減火は緩 を設置したりしなければならない。

本発明はこれに変みて導水管やは等の特別な 歴数を要することなく水価のある河川等に繋留 式にて序題せしめる簡易な護蔵のみで水位の増 減変化によつても変ることなく動力を発生せし められるようになしたものである。

即ち 本 発明は 所 要 の 停力 を 有す も 円 間 状 の 序体を 二 本 平 行 に し て 配 し て 一 体 と す る と 共 に と の 序体 の 副 俊 州 郡 に 四 雄 に ス ブ ロ ケ ツ ト ホ イ ー ル を 具 幽 し た 幅 を 天 々 細 支 し 。 こ の 副 俊 の ス ブ ロ ケ ツ ト ホ ィ ー ル 個 に 張 架 し た 二 粂 の エ ン ド レ ス 伏 チ エ ン 間 に 水 死 仕 尻 を う け る よ う に し た 多

特別昭56-110569(2)

数の羽根を横架し、水流圧にて羽根を介してチェン、スプロケットボイールを脳動せしめ、この退動力にて動力発生設定を駆動し、所風の動力を得るようになしたことを受冒とする。 次に本発明を図示の実施例に基づいて説明する。

図に於て1は河川の水焼感に繋留せしめる俘 体で、この俘体1は円商状で河川水州方向に所 要の及さを有し、且所要の俘力を其偏せしめる と共にこの俘体1を2本を一定の間隔を保持す るようにして平行に配設し、連結ロッド等を複 楽して一体とする。

この呼降1、1の可後 両端の上部には呼降1、1間を領型するようにして幅2 a 2 b を軸支し、この各幅の両端にスプロケットホイール3a.5 b を天々固着し、可愛の幅2 a 2 b にて天々対同する 可後のスプロケットホイール 5 a 3 a 図 及び 3 b . 3 b 阈にエンドレス状のチェン4 a . 4 b を天々最栄すると共にこの呼降1に行つて配置された対同する二米のチェン4 a . 4 b 阈にチェン技手方回に退ビッチに配した羽

何川の水流は厚体下方で水面下になる羽框に衝 突し、別股に水比が発生する。この別股にかか る水流圧にて羽根は水流万河に流下し、羽根を 呉曜したチエンが必動され、スプロケツトホイ -ル 5 a : 5 bに回転力が発生に同軸上に設け られた超動 ホイールる cよ りチエン 8 ホイール 3 dを介して動力発生要量 7 例えば発電機を回 動せしめて動力を発生(発電)せしめるもので ある。この場合必動ホイールは無速に応じた回 仮球性となるため、この似動ホイールと動力発 生観世のホイールとの比率のみでは該効力発生 製造に所当の組織数が辿られない場合はこの両 ホイール 5 c 、 3 d 順に変越機を介在せしめて 祖逸せしめる。水紙巡と別股の水面下に於ける 個種及び羽根畝によつて脳前ホイールの最大ト ルクが設定されるので一般に似動ホイールのト ルクは大であるが回転数は遅いため使用する動 刀角生領域の種別によつては構成機を介して増 巫巫助する必要がある。

乂上記載達を刊川水流県に減留する場合水流方

この対版 5 は平板状でその一端紋が水流と逆方向に折れ曲がつた 6 字形とし河川水流低抗をできるだけ大きく受けさせっようになす。

尚対向する呼称 1 . 1 間に要設される前後の短2 a . 2 b は呼体上部でなく胸体中央の内側面間に架設してもよい。そしてこの一方の無例えば後方の曲 2 b の一端に認動ホイール 3 c と呼体 1 の上部に環設した架台 6 に政けられた動力発生機 7 のホイール 3 c とにチェン 8 を設架せしめる。この動力発生機 7 は吸水ポンプ、発動機、コンプレッサー等使用途に応じて定めるものとする。

上述のように機成する動力発生製設はその金体は呼ばれて発生する呼力にで水面上に浮遊するようになすと共に水流によって流下しないようワイエーローブ V がにて足位置に緊留 せしめ

問と同方同に呼体故手を合致するようにしても よいが、一定回棲をもつ羽根にて破大の水流 統を得るためには水流方向に対し呼体長手方向 をある角肢を保持せしめて無留することもある。

本発明による時は何川の水磁域に本発明接近を異望するのみで増水、減水によつても呼体により自動的に上下に変動し、常に沙根の一定面積が水没し、水磁低抗により動力が発生せしめられるため平均した動力が待られると共に疎近が固率で本発明装置を実施するために導水路等の線条作果は一切不要で、手軽に使用できる利点があっ。

### 4 図面の簡単な説明

は平面的になる。 動っ図は圧圧的の、数2図は100円の、数2図

1 . . . 浮体

2 = ,2 0 . 48

5m.50.5d. スプロケントホイール

30. . . 必動ホイール

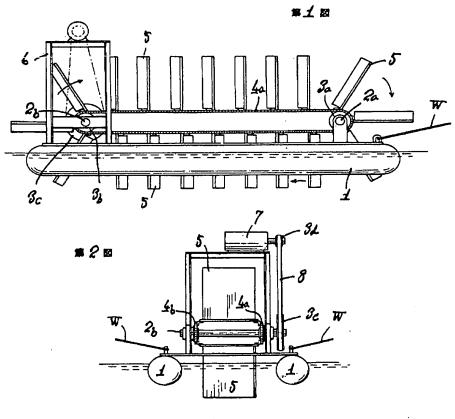
48.40 . FIV

5 . . . 羽姓

7 . . . 幼力発生設置

8 . . . + = >

特許出國人 安 建 貞 之 代 母 人 杯 清 (明...)



-405-

